

学びをしポート!

myらいふ



まなばニャー

今号の記事

- ①かぬま学びフェスティバル 2018
- ②らくらくピアノで脳の活性化を
- ③ヨーロッパアンフラワーデザイン
- ④やさしいフラメンコ
- ⑤朗読ボランティアを学ぼう
- ⑥麻の紙すき体験ツアー
- ⑦ティッシュ工作

154号



1985. 4. 25~

myらいふは、市民編集員が取材・編集する生涯学習情報です。

学びの輪 かぬま学びフェスティバル2018

10月13日(土)・14日(日)に、市民情報センター・文化活動交流館・図書館・川上澄生美術館で、日頃の学習の成果を発表する「かぬま学びフェスティバル2018」が開催されました。今年もたくさんの実演や模擬店、展示や体験コーナーがありました。

1階の実演ステージではフラダンス・太極拳など多くの実演発表があり、会場は多くの人でにぎわっていました。

1階や2階の各会場には、力作が並ぶ展示コーナーや、ワイヤークラフト・絵手紙・グラスアートなど自分だけのオリジナル作品が作れる様々な体験コーナーがありました。

また13日(土)には、15年前、市内の小中学生が自分あてに書いた手紙のタイムカプセルの開封式もあわせて開催され、手紙の返却が行われました。

天候に恵まれた2日間。若い世代も多く見られ、会場には活気があふれていました。



楽しく♪らくらく弾けちゃった！

11月5日、菊沢コミュニティセンターで行われているかぬまマイ・カレッジ講座「らくらくピアノで脳の活性化を」の取材に伺いました。

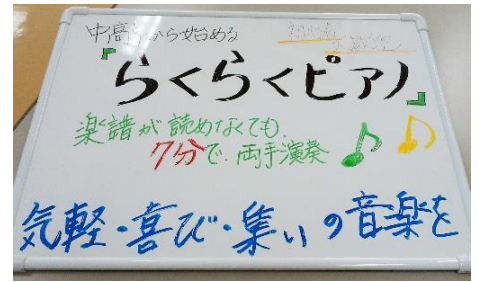
「らくらくピアノ」は、左手分はアルファベット、右手分は数字が書かれた独特の楽譜を見ながら、対応するシールを貼った鍵盤で指を動かし演奏するのが特徴。受講生4人全員が初心者で、まだレッスン3回目との事でしたが、「第九」「ジングルベル」の2曲を見事に演奏していて驚きました。

講師の伊藤小百合先生は、「普通の譜面が読めなくても、初めての事と諦めず気軽に参加してほしい」と呼び掛けます。脳が活性化



し、ツボが刺激され血流アップにもつながるそうです。また、練習中に高・低音を聴きとり耳の聞こえをみる健康チェックや、先生の手拍子をまねる「まねっこリズム」、リズムを音符に描く「リズム聴音」も取り入れています。

受講生も、孫に弾いて聞かせたい、初めてでも弾ける、楽しいと生き活きとした表情を浮かべていました。きっと最終日には、素敵な発表会が行われたことでしょう。



★ 素敵！！星型クリスマスリース ★

11月25日（日）、市民情報センターで「ヨーロッパフラワーデザイン」の講座が開催されました。講師は城野隆子先生です。

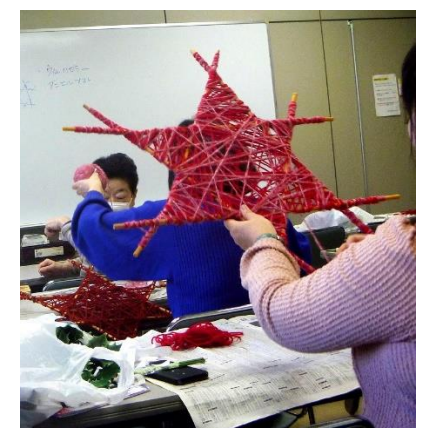
この日は全3回の初回、まずは受講生の自己紹介からです。6名のうち2名の方は学びフェスティバルの体験で興味を持ち、講座に申し込まれたそう。和やかな雰囲気の中、クリスマスリース作りが始まりました。

まず3本の棒をワイヤーで結んで三角形を2つ作り、重ねて星形に。数箇所両面テープを貼り赤い毛糸を巻き付けると、鮮やかな赤の星形のリースが出来上がりました。ポインセチアやひいらぎなどの造花にワイヤーを巻きつけ、緑色のフローラルテープを使ってリースに付けると、受講生の間から「わぁ、素敵」と歓声があがりました。金色の鈴とサテンのリボンを付けて完成！

仕上がった作品を嬉しそうに眺めていた受講生は、「同じ材料を使ってもそれぞれの感性で違った作品が出来る」とヨーロッパフラワーデザインの魅力を語ってくれました。

世界最高峰の花の競技会、インターフローワールドカップのチャンピオンであるウィム・ハゼラー氏のもとで学ばれた城野先生。受講生に向けるまなざしはとても温かく、交わす会話はまるで友達同士のようなものでした。

先生の講座では、生花や造花、プリザーブドフラワーなどの材料を作品によって使い分け、ブライダルブーケに取り組むこともあるとのこと。ぜひ講座に参加してお花の魅力を存分に味わってみてください。

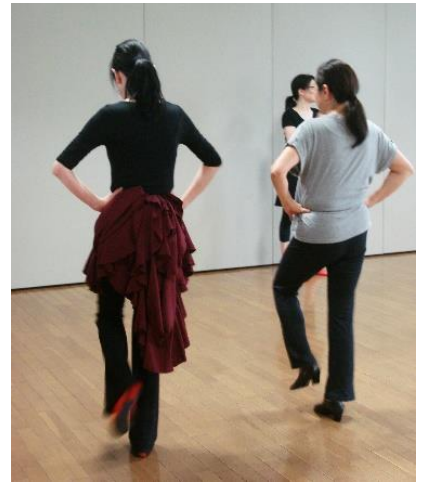


♪♪～楽しく踊ろうフラメンコ～



10月18日(木)市民情報センターで行われた、かぬまマイ・カレッジ講座「やさしいフラメンコ」の取材に伺いました。講師は、フラメンコスタジオを主宰し、かぬま学びフェスティバルや敬老会等に出演されている吉沢じゅりあん先生です。

この日の受講生は8人。ストレッチ後、先生のスペイン語の掛け声に合わせてステップの練習が始まります。2段フリルの巻きスカートを身に着け練習用衣装もエレガント。赤いくつのリズムカルな音がホールいっぱいに響きます。



全12回の講座終了後は、おさらい会や2年に1度のスタジオの発表会に、カレッジとして参加するそうです。大きなイヤリングやお花をつけ独特なお化粧をし、華やかな衣装で生ギターの演奏に合わせて踊る日を楽しみに、皆さん終始笑顔でレッスンしていました。

生徒の皆さんは、「踊りは好きではなかったけど、先生が素敵なので7年も続けて受講しています」「毎回楽しくて、頭と体全体を使い老化防止になります」と。

皆さんもこの春からフラメンコを始めてみませんか？



朗読ボランティアを学ぼう

11月8日、文化センター大ホールで行われた「朗読ボランティアを学ぼう」の取材に伺いました。最初は講師の朗読グループ”いずみ”の皆さんが、『物売りの声』『おむすびころりん』などのお馴染みのお話をそれぞれ違った読み方で朗読。それぞれの声のリズミカルに重なり合い、素敵に楽しく響きました。次に参加者の皆さんが『あめんぼの歌』などで発声練習。

そしていよいよ本番！3人ずつグループになり、舞台の上から観客席に向かって読み聞かせ発表です。皆さんは貴重な経験に緊張しながらも、それぞれの役になり読む声に力が入っていました。

参加者の一人は「最近子育てがひと段落したので、何かを始めたいと考えて参加しました。グループの皆さんの朗読を間近に聞いて、自分もやってみたいと感じました。」と言っておられました。

グループ代表の阿部洋子先生にお聞きしたところ「栃木県は無アクセント地域県民。アクセントが崩壊

しているとまで言われているので、声を出して本を読むことは大切な事。皆さん本を読むことが大好きで、皆で読むと素敵な響きになります。」と。

朗読グループいずみは昭和52年に発足し、現在女性19名。月1回の定例会で発声練習の指導を受けながら、目の不自由な方々への対面朗読やこどもたちへの読み聞かせ施設訪問など、本を通じた活動をしています。

色々な人たちやたくさんのお本に出会える、朗読ボランティアに参加してみませんか？





「麻」～昔と今と～

11月2日「麻の紙すき体験ツアー」に同行し取材させて頂きました。

麻は育ちが早く丈夫な繊維。中でも、かぬまブランドの「野州麻」は更に薄くてしなやか。昔から神聖な力があると言われ、神社の注連縄しめなわやお守りに用いられてきました。最近では白鵬翔関の化粧まわし



にも使われました。身近なところでも、インテリア・小物などさまざまなものに使われています。

今回はハガキと名刺作りを体験、講師は「麻紙職人」大森芳紀氏です。その日の新鮮な井戸水の中で麻をすき、それぞれ好きな葉っぱを乗せ、板じめをしてそのまま一週間ほど乾燥して出来上がり。



皆さん初めての体験に「できあがるのが楽しみ。けどもったいなくて使えない」と声をそろえていました。

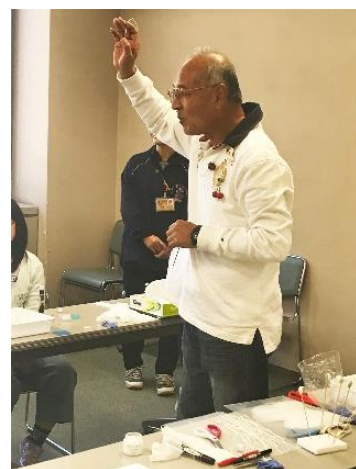
そんな手作り麻紙のハガキ、名刺が頂けたら、一味違って更にうれしいですね。

📄 あら不思議？ティッシュペーパーがなんと… 📄

11月11日（日）、情報センターで「ティッシュ工作～かわいいコーヒーカップとお皿作り」が開催されました。講師の駒宮洋さんは、ティッシュペーパーをこよりにしたり複数枚をニスや木工用接着剤に浸して固さや厚みを持たせるなどの技法を駆使して、昆虫や花などを製作しています。ティッシュ工作を広くみんなに知ってもらいたいと、各地での出張講座やテレビ出演、本の出版などを通じ、普及に力を入れています。

今回は親子8組がティッシュペーパー1枚から作品を作ります。細長く切ってねじってこよりを作り、マーカーに巻き付けながら接着剤で固めていくと…コーヒーカップの出来上がり！実演に続いて、それぞれ見よう見まねで工作が始まりました。駒宮さんの話はとてもユーモアに溢れ、あっという間の楽しい2時間でした。

参加者は「久しぶりに子どもと一緒に工作しました。作品は大切に飾っておきます」と大喜び。親子の絆も深まる素敵な講座でした。



● 編集後記 ●
● 今号から編集員として参加させて頂きました。鹿沼のいろいろな「感動」をお伝えしていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。(湯澤美子)

myらいふ編集員：瀧田祐三・井上恵理子・藤沼清美・介川恭子・西本恭子・西村和子・湯澤美子